

大学自己評価部会だより

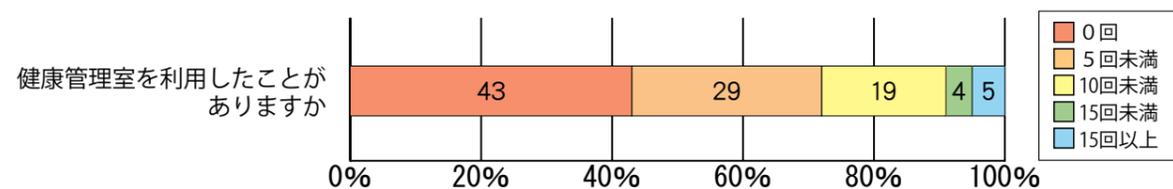
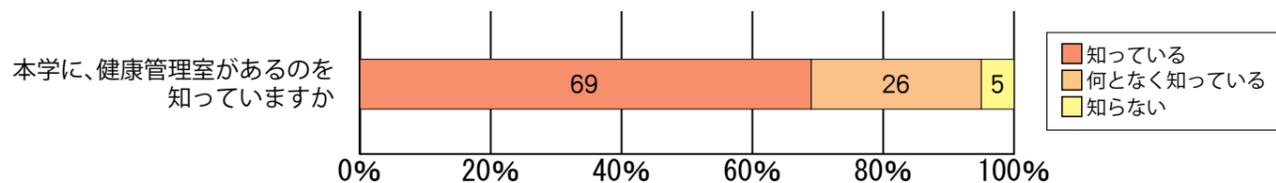
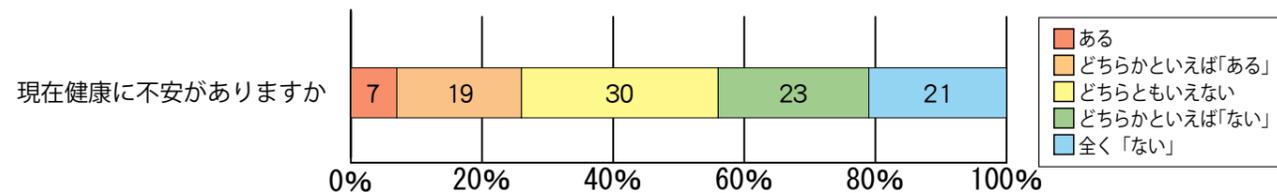
第2号 (平成19年11月)

アンケート調査結果を報告します

九州歯科大学では、平成19年4月に学部学生2～6年生と大学院生および研修医の方々にアンケート調査をお願いしました。今回は、学生の実体を把握する目的で行った心身の健康に関する結果を報告致します。今後とも皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

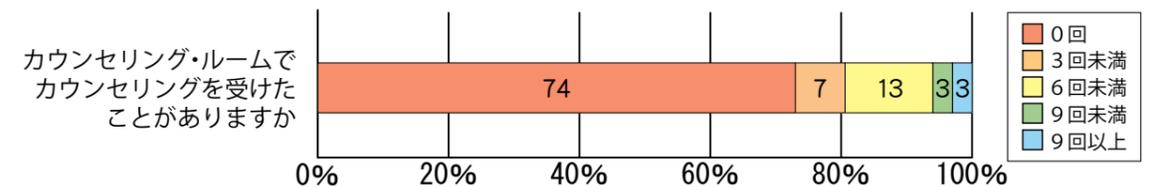
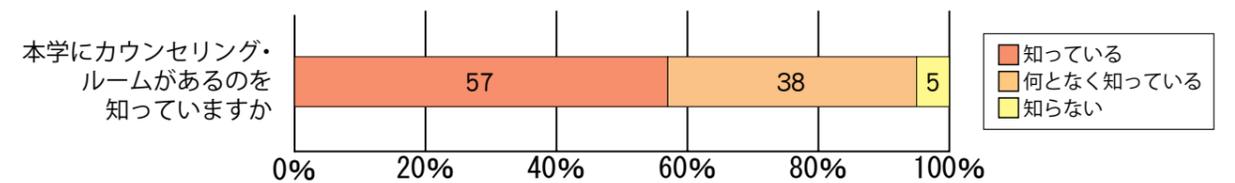
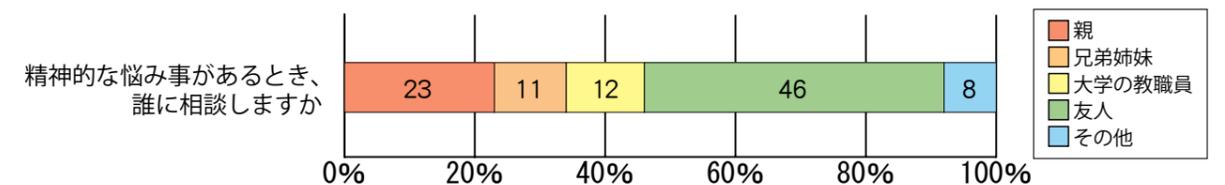
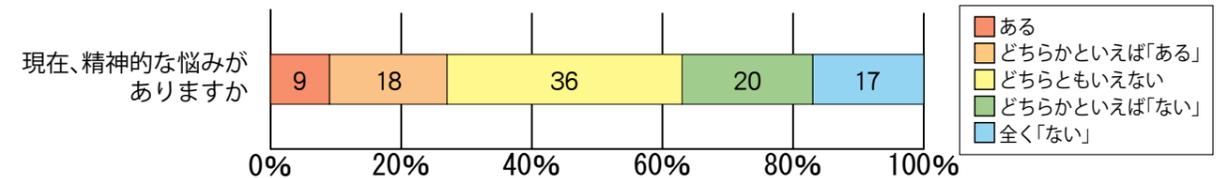
1) 身体 の健康と健康管理室の周知度

約半数は健康だと思っていますが、26%が健康に何らかの不安を感じています。実際に通院加療中の方も10%程度います。これらの数字は、各学年ほぼ共通していました。健康管理室の周知度は高く、「何となく知っている」まで含めると95%に達します。また、実際に健康管理室を利用したことのある割合は57%に達し、約10%は年間10回以上利用しています。



2) 心の健康とカウンセリング・ルームの周知度

現在、27%の人が精神的な悩みを感じていますが、37%はほとんど悩みがないと答えています。悩みの相談相手の約半数は「友人」で、各学年ともほぼ同様の傾向でした。「大学の教職員」への相談は12%で、上学年になるに従って減る傾向を示しました。カウンセリング・ルームの周知度は健康管理室と同様に高く、利用者は26%でした。



3) 友人関係

悩みの相談相手で最も高かった友人について、その関係は約50%が「良好」であり、「普通」まで入れると90%以上に達しました。しかも、上学年になるに従って、「良好」と感じる割合が増加する傾向にありました。

